

「豊」かで「和」やかな 豊和

豊和 おひさま だより

旧「豊和村つくり通信」



今では珍しくなった昔ながらのオダ掛けで稲を干している
大寺の SOSA Project の谷津田風景



念願の夏休み「こども教室」 地域の力で実現！

移動スーパー「とくし丸」
豊和地区で運行開始！

新しい「村つくり基金」協力事業者のご紹介
みんエネ13号機『THE 土と太陽の発電所～Soil&Sun～』

豊和にかよった人
●西 健太郎さん 西 由美さん



ソーラーシェアリングの「分かち合い」で豊和を元気に！ **豊和村つくり協議会**

<https://www.toyowa-village.org/>

念願の夏休み「こども教室」 地域の力で実現！



「夏休みも子どもを預かってもらえると助かる」……

働くパパやママの切実な声を受けて止めて夏休み「こども教室」を実施しました。

実現の原動力は、「是非やりたい」というパパ・ママの思いとそれを支えた地域の人たちの力です。

「こども教室」は、指導員3人と15人のボランティアスタッフで運営され、

高校生16人がボランティアで協力してくれました。村つくり協議会は資金面で支えました。

スタッフとして支えてくれた地域のみなさんや移住者のみなさん、

そして本の読み聞かせや体験活動に何度も通ってくれた林さん（大寺在住）ありがとうございました。

学校ではできない体験に こども達は大喜び！

太陽の光で動く車つくりや藍染などにこども達は目を輝かせていました。



和太鼓やピアノ演奏も 一緒に楽しむこども達

世界的に活躍している和太鼓集団「GOCOO」のスタッフが演奏を披露し、こども達と一緒に太鼓を敲きました。こども達にとっては初めての楽しい経験でした。

ディズニーランドで演奏をしていた近藤さんもお子さんの大和君と一緒にこども達も交えての演奏を聞かせてくれました。ディズニー音楽には、こども達よりもボランティアの高校生が喜んでいました。

手を真っ青にしながら 藍染に初挑戦！

10年前に大寺に移住してきた「まりりん」（松原万里子）さんの指導で子ども達は初めて藍染に挑みました。染めた時には緑色だったものが乾くにつれて鮮やかな藍色に変わるのが見て、子ども達はびっくり！ 思い思いの絵柄に染めていました。



ボランティアのお姉さん 「ありがとう！」

みんなで書いた色紙をプレゼントしました。「宝物にします！」と笑顔。



移動スーパー「とくし丸」 豊和地区で運行開始！



お買物に困っている方の解消をめざして運行を始めました。運行は、豊和地区内で、毎週火・金曜日で、事前に申し込んでいる方のお宅まで伺います。
申込先：080-7579-4126 おおやぎ

下記の場所でも利用できます。

- 市民エネルギーちば 11:00～11:30頃
- 飯塚区民館駐車場 11:30～12:00頃
- 大寺郵便局前 12:00～12:30頃



新しい「村づくり基金」
協力事業者のご紹介

みんエネ13号機 『THE 土と太陽の発電所～Soil & Sun～』



「ソーシャルビジネス」を通じてより良い社会を築いていくことめざしている(株)ボーダレス・ジャパンと「人や地球環境、社会、地域におもいやりのある考え方や行動」＝エシカルな暮らし方で持続可能な世界の実現を目指すエシカル協会の協力で設置しました。

「環境を守り、農業を支え、地域に貢献する」という理念を共有しています。

新連載

豊和にかよってきた人

にしけんたろう
西 健太郎さん & 西 由美さん
にしゆみ

今号から「豊和にかよってきた人」をお届けします。
今回は、大寺にある Sosa project の田んぼ活動2年目にして、
東京都から匝瑳市内に移住を決め準備を進めている、
西さんご夫婦に伺いました。

●プロフィール

西 健太郎：山口県出身 いつからか地方での暮らしを志す。

サラリーマン時代、特に不満は無いように思うものの、高坂さんの著書を読み、彼が営んでいた飲み屋に興味を持つ。

お店には行く機会はなかったが、高坂さんのブログを見て田んぼに興味を持つ。ある時、のさかアリーナで移住者の高坂さん、まりりん、近藤さん、ウッチャーさんが、地元の方向けにお話しをするイベントに迷い込む。

それをきっかけに、匝瑳に何度か宿泊に来て、田んぼを見学し、大寺のマイ田んぼ 2020 に参加する。

西 由美：栃木県出身 消費するだけだった東京での暮らしを経て、半自給農のある暮らしを目指す。

東京では非正規で働くことがほとんど。しかしある菓子製造業での勤務を経て、好きなこと（コーヒー関係）を生業にしつつ、半自給をしながら暮らすことを思い描く。経済的なことを含めた、現実において長い間模索する（約 10 年）。

やっと様様なことが消化出来つつあるとき、健太郎さんと行動を共にしながら大寺のマイ田んぼに出会う。

●豊和に来た時の印象は？

木や草や土の良い匂いを感じました。

●2021年・田んぼ2年目はいかがでしたか？

1年目に改善したいと感じたところを、ひとつ、ふたつやってみることが出来ました。一本植え、根切り等、1年目は稻の倒伏が印象に残っていたので。

来年やってみたいことも見えました。田植え前の草取り。畔の整備などです。

●豊和にかよって、良かったことや自分自身に気づいたことはありますか？

自然の中で作業していると、時間を忘れて、空腹も忘れていること良くありました（オフィスワークをしていると空腹を感じることが多いです）。

また里山活動で共同作業をしていると、心が開



いて、初対面の方たちと自然と協力することができ、気がつくと笑顔になっていることもあります。

●東京から匝瑳市内へ移住を決めたことについて

紆余曲折がないわけではありませんが、自然な流れで決断出来たという感じです。

今は、自分たちが匝瑳でどういう暮らしを作っていくのかを楽しみにしています。

●これからやってみたいこと

お借りしたお家の庭作り、ワークショップで教えていただいた、大地の再生を取り入れてみたいと思っています。

個人的な生業の可能性としては、コーヒー豆焙煎、金繼ぎのワークショップなどを思案中です。

お漬物など
保存食がお得意な方が
いらっしゃれば、
ぜひ手解きを受けて
みたいです。



豊和おひさまだより 第9号 2021年10月発行 制作 豊和村づくり協議会

〈連絡先：事務局〉 千葉県匝瑳市飯塚 1037-1 TEL : 070-8492-3512

メール : contact@toyowa-village.org ホームページ : <https://www.toyowa-village.org/>